

# 笑顔が届ける自信作

紹介：讃岐蒲鉾



伊吹島への定期船(10km)が発着する観音寺港近く仮屋(仮屋浦)地区にその工場はある。島々が密集し潮の流れが複雑で急な

なめ、燧灘でとれる魚は激しい潮流にもまれて育つ。目の前の漁場からあがった身が締まって美味しい魚を原料に



した蒲鉾から、海の幸の香りが漂ってくる。歯ごたえは格別。夏限定の「ちぎり天」は、ビールのつまみにも最適。



仮屋地区に伝わる大凾  
< 扇咲競 >



ここ仮屋(かりや)地区に伝わっている伝統ある凾「扇咲競(おうぎさつきょう)」は、太鼓台の締布団にヒントを得て作ったものといわれる。絵の上が陣屋をかたどった武者絵(源平合戦の時、仮屋地区に陣屋を置いた源義経の姿を描いたもの)、真ん中はボタンの花、両脇は太鼓台のトンボの房(ふさ)、下は波、全体で扇をかたどっている。「扇咲競」という名称は、この凾をいっせいに揚げるとボタンの花が咲き競っているように見えることや、太鼓台(ちょうさ)の締布団が咲競と呼ばれ、扇を形どっていたことからその名が出たとのこと。先に刃物をつけた長い尾をつけて相手を落とすのでけんか凾とも。